

口は健康のもと Vol.76

アレルギー性疾患の患者 各人に合った治療する

アレルギー疾患の一つであるスギ花粉症は、戦前は皆無でしたが、最近では人口の10%を超える地域もあります。また、わが国のみならず、欧米でも10年間に20~50%もアレルギー疾患が増加しているとの指摘もあり、先進国共通の現象であると言われています。

過去十数年間のアレルギー性疾患の急増は遺伝要因のほか環境要因（じゅうたんのダニやカビの繁殖など住環境の変化、動物性脂肪分など過栄養と食品添加物などの食生活の変化、大気汚染物質、ストレスの増加など）が関係している可能性が論議されています。

さて、化学物質過敏症患者さんへの歯科治療の際の対応は未だ不十分としか言えないのが現状です。それは歯科治療時の原因物質の排除だけではなく、壁紙・床材、他患者さんとの接触、高度な空気清浄等々、化学物質を完全に除去することが難しいためです。

歯科治療においてもアレルギーの原因となる物質があります。グローブ（歯科医がつける手袋）、局所麻酔の添加物、根の治療薬、消毒薬、被せたり詰めたりする金属、飲み薬などです。

アレルギー疾患を持つ患者さんに対しては、パッチテストで原因を調べてから治療を行います。患者さん一人ひとりに合った治療の仕方をとりますので安心して来院してください。



奥羽大学歯学部附属病院

総合歯科 教授 杉田 俊博